

ソプラノ・関定子は、オペラを中心としながらも、歌の幅広い分野をレパートリーとして、自由闊達に歌ってきたテクニシャンの一人である。とくにオペラでは、古希を過ぎた現在でも次々と難役に挑戦、自己の昂揚につとめる稀有な歌い手といえようか？
 〈日本歌曲〉という世界での存在も重い！ 芸術歌曲から童謡や民謡、果てはやりうたやポピュラー系の歌まで、こなしてきた曲たちは枚挙にいとまない！

このシリーズ〈日本の歌〉は、その関の発案によるもので――弟子には、巧みに、また個性的に歌う人がたくさんいる。そんな彼らを紹介したい！――との願いからスタートした！ 毎回ピアニストも含む数人を抜てき、幅広い〈日本の歌〉を歌っていく！



〈友〉音楽工房シリーズ 関定子とその仲間たちの集い

さまざまな日本の歌を楽しもう

④



平本弘子(S)



宮 富江(S)



窪田晶子(S)



佐藤恵利(S)



佐藤由佳(S)



近藤陽子(P)



田中悠一郎(P)

●曲目予定●

※曲目に対する歌手とピアニストは、当日発表いたします。
 ※従って、予定の曲目が変更・追加される場合もあります。
 ご了承ください

- 舞(橋本國彦・曲) ●城ヶ島の雨(橋本國彦・曲) ●赤いかんざし(貴志康一・曲) ●鳩笛の唄(中田喜直・曲) ●ピアニッシモの秋(中田喜直・曲) ●悲歌(猪本隆・曲) ●《晩夏》より(木下牧子・曲) ●ほのかにひとつ(木下牧子・曲) ●《九つの童謡》より(増本伎共子・曲) ●ほくが死んでも(信長貴富・曲) ●《二番目に言いたいこと》より(なかにしあかね) ●落葉松(小林秀雄・曲) ●その他

(令和元年)
 2019年9月26日(木)19時
 音楽の友ホール

(地下鉄東西線・神楽坂駅下車1分)

●4000円(全自由席)

主催：〈友〉音楽工房 TEL 03・5155・3281

*チケット申し込み・問い合わせは上記まで

協賛：〈リラの会〉

せきてい振興会 せきていクラブ 恵雅堂出版社

※第5回：'20年(令和2年)9月下旬の予定